普通階・無窓階算定書【記入例】

防火対象物名称　　置賜広域株式会社

算定者氏名　　予防　一郎

（　　1　階）

床面積（A）	基準開口面積（A／30）	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
1196.66㎡	39.89㎡	61.32㎡	普　・　無	普　・　無

開口部位置	建具記号	開口部種別	硝子種別厚さ	床からの高さ（m）	幅（m）×高さ（m）×所在数	開口部面積小計（㎡）	備考
北	AW-1	引違い	普通 6mm	1.2	0.75×1.2×16	14.4	
南	AW-2	引違い	網入り 6.8mm	1.2	0.75×1.0×16	12	
南	AW-3	両開き	線入り 6.8mm	0	0.9×2.4×2	4.32	
南	AW-3	FIX	線入り 6.8mm	0	0.5×2.4×2	2.4	
南	SS-1	軽量ｼｬｯﾀｰ			4.0×6.0×1	24	水圧開放
東	AW-4	片開き	強化 5mm	0	1.2×2.0×1	2.4	
西	AW-6	すべり出し	普通 6mm 4mm	1.0	0.6×1.0×3	1.8	

備　考

1　消防法施行規則第5条の3の規定に適合する開口部のみ計上すること。

2　仕切り壁等の区画により相互に往来できない場合は、区画ごとに算定すること。

3　算定は、階ごと（往来できない場合はその部分ごと）に算定すること。

4　直径１m以上の円が内接することができる開口部、又は幅75cm以上、高さ1.2m以上の開口部についてはその建具記号を〇で囲むこと。

5　有効開口部すべてを記入すること。

6　算定書には、配置図、建具配置図及び建具表を添付し、算定した開口部を朱色で表示すること。